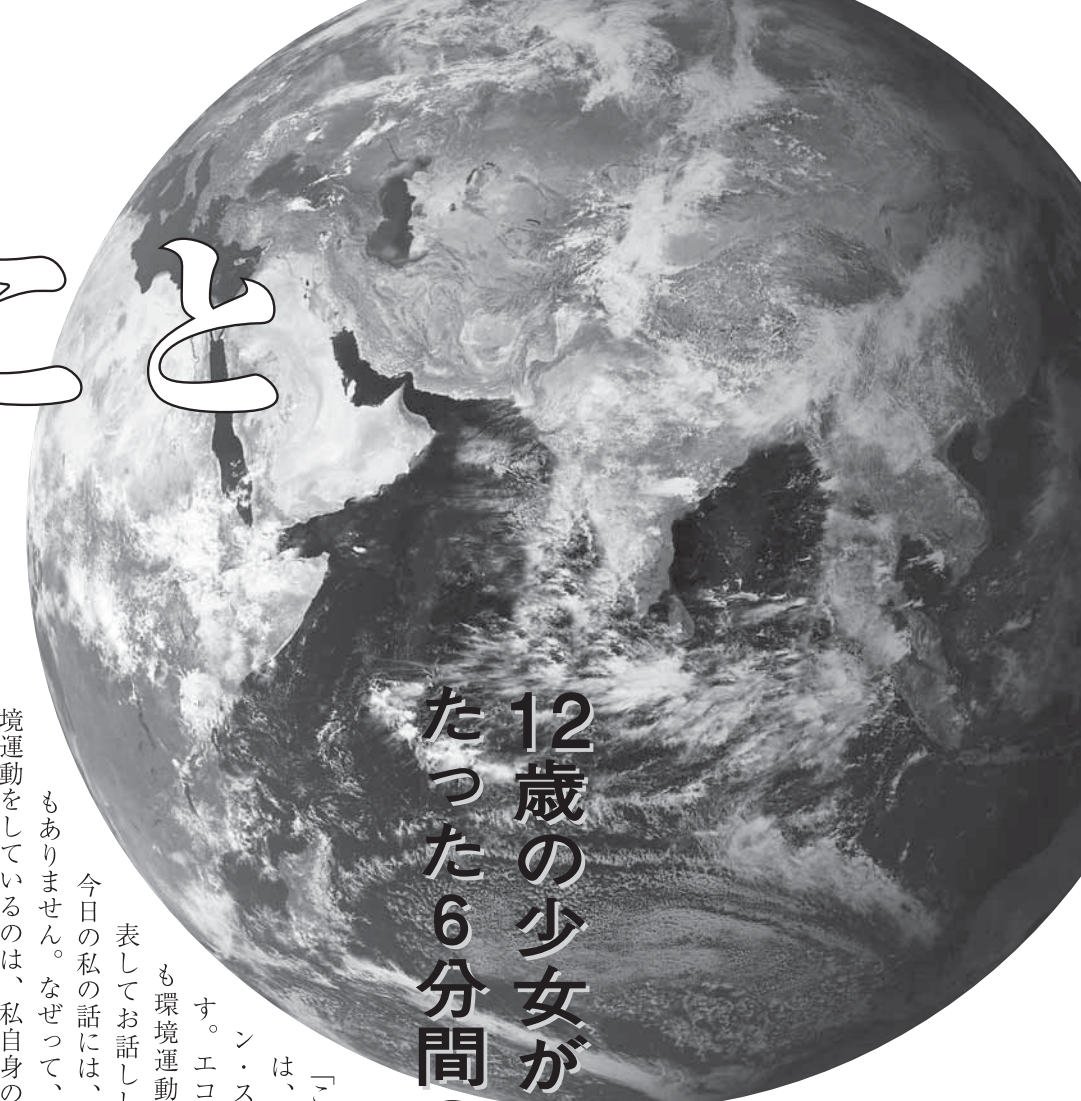


明日のためにできること



12歳の少女が地球サミットで語った たった6分間の「リオの伝説のスピーチ」

【終章】
奇跡の星
地球に生きる
ものとして

「こんにちは、セヴァン・スズキです。エコ（子ども環境運動）を代表してお話しします。

今日の話には、裏も表もありません。なぜって、私が環境運動をしているのは、私自身の未来のため。自分の未来を失うことは、選挙で負けたり、株で損したりするのは訳が違いますから。私がここに立って話しているのは、未来に生きる子どもたちのためです。そして、もう行くところもなく、死に絶えようとしている無数の動物たちのためです。太陽のもとにでるのが私は怖い。オゾン層に穴があいたから。呼吸をすることさえ怖い。空気にどんな毒が入っているかもしれないから。父とよくバンクーバーで

釣りをしたものです。数年前に。体中ガンでおかされた魚に出会うまで。そして今、動物や植物たちが毎日のように絶滅していくのを、私たちは耳にします。それらは、もう永遠に戻ってはこないんです。私の世代には、夢があります。いつか野生の動物たちの群れや、たくさんの鳥や蝶が舞うジャングルを見ることです。でも、私の子どもの世代は、もうそんな夢を持つこともできなくなるのではないかしら？あなたがたは、私ぐらいの年齢のとき、そんなことを心配したことがありますか。あなたがた大人にも知ってほしいんです。あなたがたも良い解決法なんて持っていないっていうことを。オゾン層にあいた穴をどうやってふさぐのか、あなたは知らないでしょう。死んだ川にどうやってサケを呼びもどすのか、あなたは知らないでしょう。絶滅した動物をどうやって生き

●リオの伝説のスピーチ

1992年6月11日、ブラジルのリオデジャネイロで開催された国連の地球サミット（14ページ本文参照）において、壇上での発言を許された一人の少女が、世界各国の代表者たちの前で、環境問題の深刻さや未来への不安を切々と訴えました。スピーチの時間はわずか6分ほど。しかしこの6分間のスピーチは、各国の代表者の中で大きな反響を呼び、その後、世界中に広まりました。セヴァン・スズキさんは当時12歳。今でも世界各国を巡り、環境保護を呼びかける活動を行っています。※平成19年12月号でもご紹介しました。本特集にこそふさわしいと考え、再びご紹介させていただきました。

かえらせるのか、あなたは知らないでしょう。そして、今や砂漠となってしまった場所にどうやって森をよみがえらせるのかあなたは知らないでしょう。どうやって直すのかわからないものを、壊しつづけるのもはやめてください。ここでは、あなたがたは政府とか企業とか団体とかの代表でしょう。でも本当は、あなたがたも誰かの母親であり、父親であり、姉妹であり、兄弟であり、おばであり、おじなんです。そしてあなたがたの誰もが、誰かの子どもなんです。私はまだ子どもですが、ここにいる私たちみんなが同じ大きな家族の一員であることを知っています。3千万種類の生物からなる大家族です。国境や各国の政府がどんなに私たちを分け隔てしようとしても、このことは変えようがありません。私は怒っています。でも、自分を見失ってはいません。私は怖い。でも、自分の気持ちを世界中に伝えることを、私は怖れません。

に「家もなにもないひとりの子どもが、分かちあうことを考えているというのに、すべてを持っていて私たちがこんなに欲が深いのは、一体どうしてなのでしょう。もし戦争のために使われているお金をぜんぶ、貧しさと環境問題を解決するために使えばこの地球は素晴らしい星になるでしょう。学校で、いや、幼稚園でさえ、あなたがた大人は私たちに、世の中でどうふるまうかを教えてくれます。たとえば、「争いをしないこと」「話し合いで解決すること」「他人を尊重すること」「ちらかしたら自分で片づけること」「他の生き物をむやみに傷つけないこと」「分かちあうこと」「そして欲ばらないこと」ならばなぜ、あなたがたは、私たちにするなということをしているんですか。なぜあなたがたがこうした会議に出席しているのか、どうか忘れないでください。そしていったい誰のためにやっているのか。あなたがたはこうした会議で、私たちがどんな世界に育ち生きていくのかを決めているんです。

あなたがたはいつも私たちが愛していると云います。しかし、私は言わせてもらいたい。もしその言葉が本当なら、どうか、本当だということを「行動」で示してください。

特集後記 本特集では、様々な文献などを参考に地球温暖化について述べてきました。1000の第4次評価報告書では「20世紀半ば以降の気温の上昇は、90%以上の確率で人間活動による温室効果ガスの増加が原因」と報告しています。温暖化が進み気候が急変すれば、気象災害も増え、サンゴ礁の島々は海に消えます。ホッキョクグマは行き場を失い、いづれ日本の気候も変わってゆくのかもしれない。地球は40数億年という途方もなく長い時間をかけてゆっくりと今の姿になりました。そして私たち人間は、その地球が築きあげてきたものを、あっという間に壊そうとしているのです。どうか皆さん、そのことを忘れないでください。川根本町は未来を見つめ続けます。次の世代のために。

特集 終わり

参考文献など●JCCCA全国地球温暖化防止活動推進センターHP、気象庁HP、静岡県環境学習データバンクHP、北海道庁HP、ナマケモノ倶楽部HP、Newton別冊この真実を知るために地球温暖化（ニュートンプレス）、手にとるように地球温暖化がわかる本（かんき出版）、地球温暖化を考えるー総合的な学習を教える先生のためのガイドブッケー、環境問題はなぜウソがまかり通るのか（洋泉社）、静岡県広報紙県民だより、岩手県藤沢町広報紙まちの総合情報誌ふじさわ、川根本町地球温暖化対策実行計画、川根本町平成19年度環境活動レポート、川根本町森林のエネルギー導入促進事業費補助金交付要綱、川根本町生ごみ処理容器等購入費補助金要綱、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年10月9日法律第117号）、エコアクション21環境経営システム・環境活動レポートガイドライン2004年版（写真提供：全国地球温暖化防止活動推進センター <http://jccca.org/>）